

令和元年度健康保険委員アンケート 集計結果報告

◆ 概要

協会けんぽ岩手支部の健康保険委員委嘱済み事業所に対して、協会けんぽの事業認知度に関する内容と来年度の事業計画策定の際に参考とする内容でアンケートを実施。

• 対象者

健康保険委員委嘱済みの2,082事業所

• 送付方法

令和元年6月発行の健康保険委員向け広報誌「ハピネス」送付時に、アンケート用紙を同封して発送。

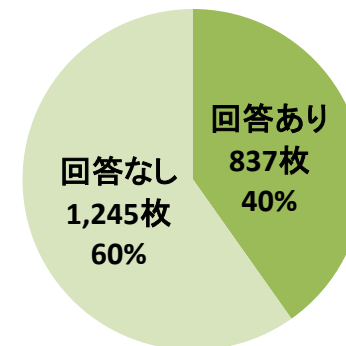
• 回収期間

令和元年6月20日～令和元年7月26日まで（FAXまたは郵送により回収）

• 回収率

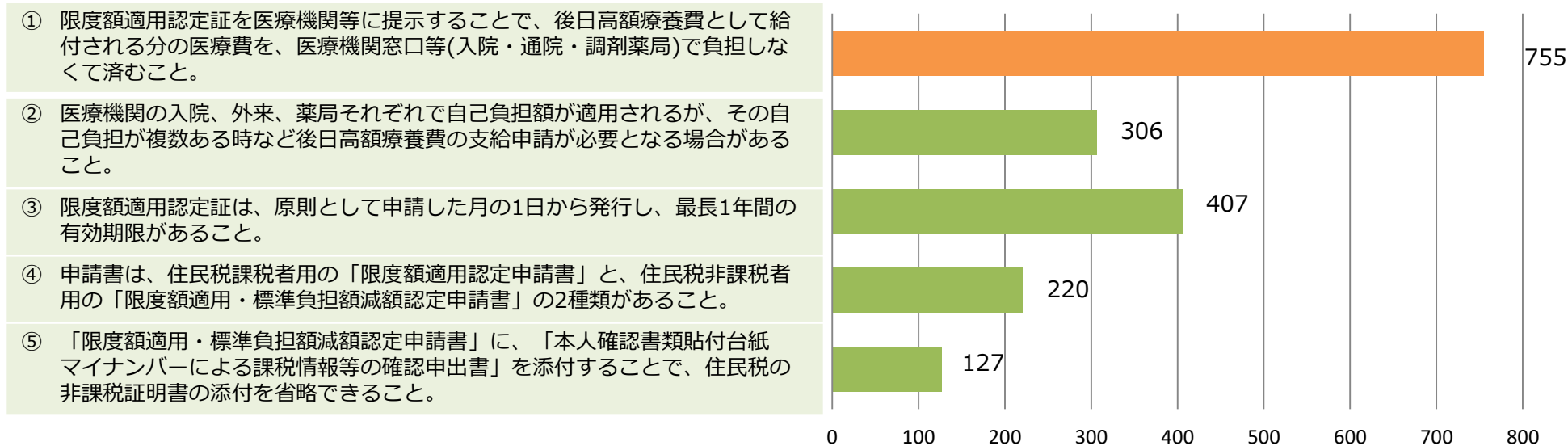
アンケートを送付した2,082事業所のうち、40%にあたる、837事業所から回答あり。

アンケート回収率

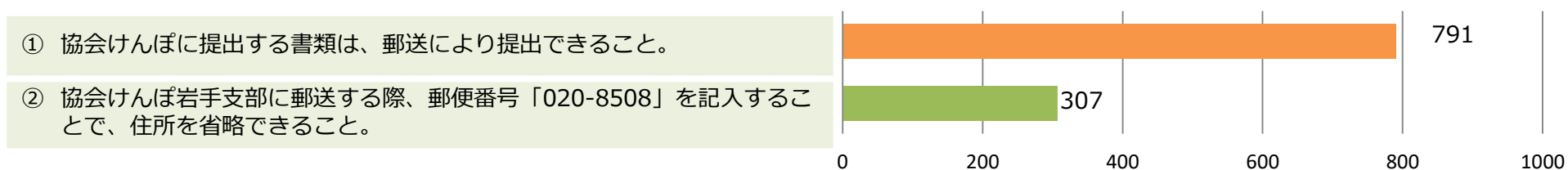


N=2,082

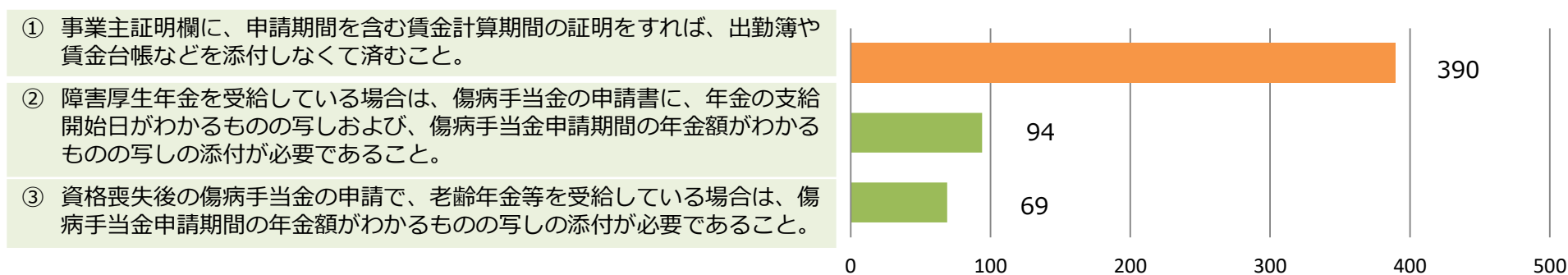
◆ 問1：「限度額適用認定証」について知っている項目すべてに○印をつけてください。(複数回答可)



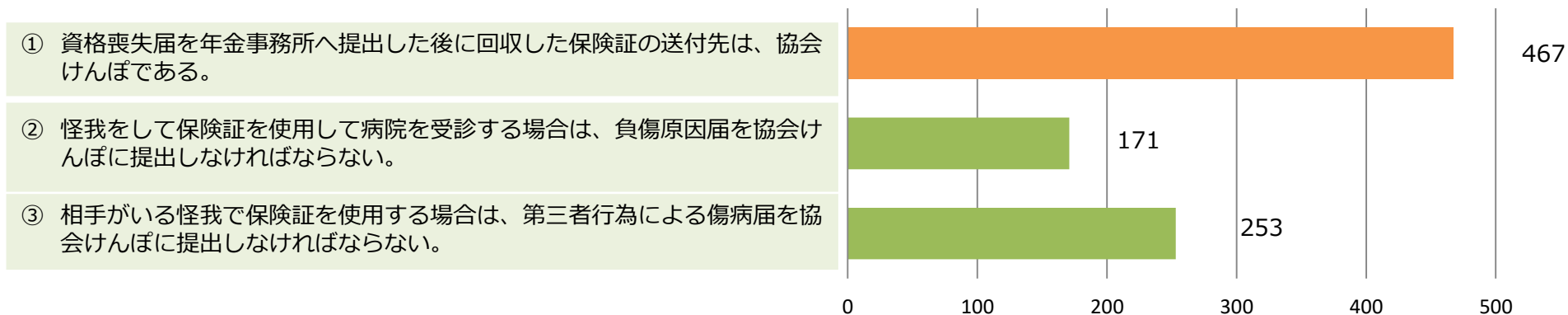
◆ 問2：申請書等の提出について知っている項目すべてに○印をつけてください。(複数回答可)



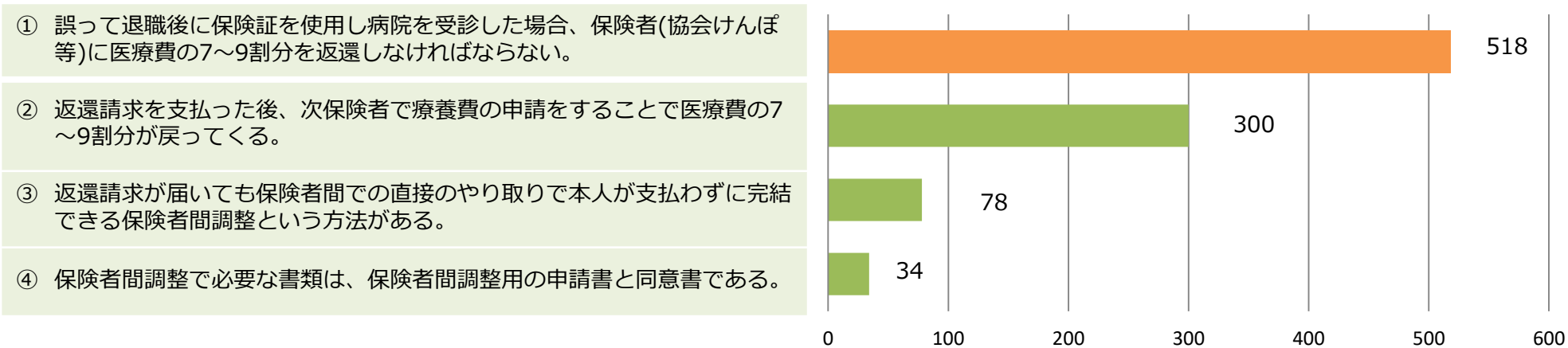
◆ 問3：傷病手当金・出産手当金の添付書類について知っている項目すべてに○印をつけてください。(複数回答可)



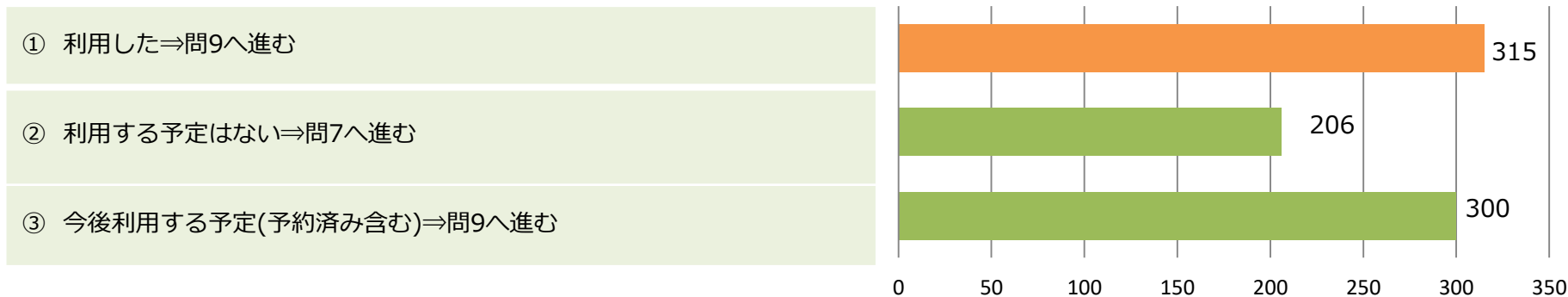
◆ 問4：保険証の利用について知っている項目すべてに○印をつけてください。(複数回答可)



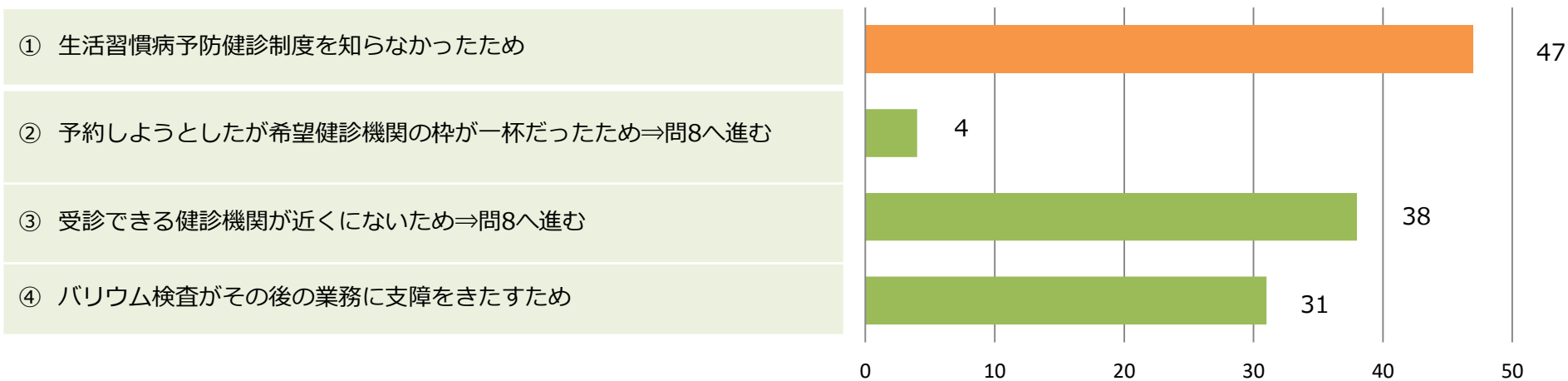
◆ 問5：医療費の返還について知っている項目すべてに○印をつけてください。(複数回答可)



◆ 問6：令和元(2019)年度、生活習慣病予防健診を利用しましたか？



◆ 問7：問6で「利用する予定はない」と回答した場合のみお答えください。
生活習慣病予防健診を利用しなかった理由はなんですか？



➤ 問7の自由記述について

記入内容

利用者がいなかった。すでに治療中であったため。

他の機関を利用したため。

別に理由なし。一般健診のみで。

市の検診で賄えた為。

仕事の関係上時間とれず。

定期健診を受けているため。

岩手労働基準協会を受けている。

関心がなかったから。

制度を知ったのが受診日時を決めた後で仕事の工程変更が厳しかった為。

いつも使っている医院で受診する為。

最寄の医院で検診している為。

個人で受けている。

住田町でやれる所が無いので。

各人が一年に一度の健康診断を受けた結果をみて通院している。

知っていたが個人にまかせている。

労働基準協会の健診を利用している為。

勤務の状況を考えなくてはならない。

職員に話したところ、自分のかかりつけでやるから・・・という声が多かった。

定期健診を受けているので。

職場の健診で十分だから。

会社で受けている。

最寄りの医療機関で健康診断を実施。

特殊健診を同日受診したいため。(1日で済ませるため)

毎年会社で健康診断を受けているため。

他で健診を受けているため。

医療業のため。

個人で市の健診を受診する。

人不足で休ませることができない。

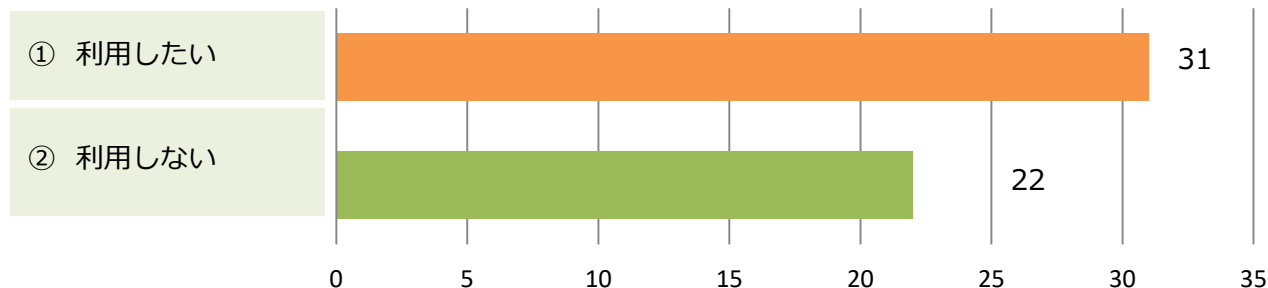
県立宮古病院はすぐ一杯になるので、枠を増やしてほしい。会社控えをくれる様にしてほしい。社員が気持ちよく(気分)受診できるような接し方をクリニックの方をお願いしてほしい。

年齢制限があるため事業所の健診としては使えないのかと思ってます。

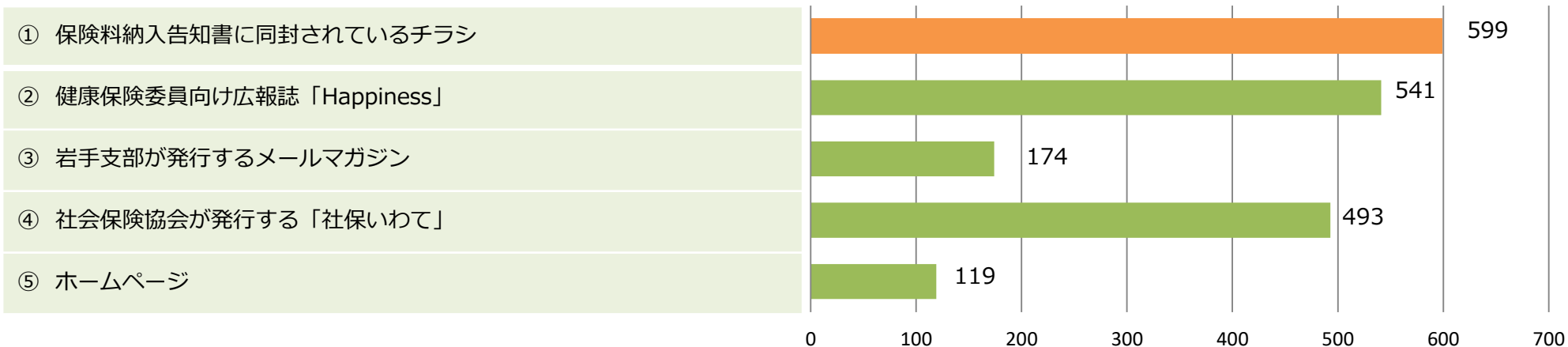
➤ 問7の自由記述について

	記入内容
個人で受けている。	
希望する職員がいなかった。	
職員配置が難しいため。	
別の機関で健診を行う予定。	
日程の調整がつかず、申込できていない。	
職場で健康診断を実施しておりそれを受けている。	
個人の希望がない。	
会社側では考えていないと言われた為。	
希望時期に利用できないため。	
職場での健康診断を実施している。(内容的にはほぼ予防健診の項目と重複である)	
地元でお願いする先があるため。	
地元で嘱託医がいるため。	
該当者がすでに通している為。	
事業者健診を行っている。	
会社独自の健診の為。	
考えていませんでした。	
他で受診するため。	
他の健診を受けるため。	
先々の仕事の繁忙が予想つかない為、予約を入れられない。会社から健診費用が出ない。(自己負担となる)	
休みを取りづらい。	
病院で定期的に検診している為。	
生活習慣病予防健診に割く時間が難しいため。	
業種から、一斉に受診することが難しいこと。これまでの健診の方が日程調整しやすいこと。	
各自管理している。	
2年に一度利用しているから。	
予防医学協会より健診車が来て、健診を受けている。	
毎年、定期健康診断をしているため。	
他の機関で受診の為。	
病院なので職員健診を実施している。	
労働基準協会の健診を受けています。	
現時点で検討していない。	
他で健診を受けているため。	
要望が無い為。	

◆ 問8：問7で「予約しようとしたが希望健診機関の枠が一杯だったため」、「受診できる健診機関が近くにないため」と回答した場合のみお答えください。生活習慣病予防健診を受診できる環境(例：集合バス健診)が整えば、生活習慣病予防健診を利用してみたいですか？



◆ 問9：協会けんぽ岩手支部の広報媒体としてご覧になる頻度が高いものはありますか？(複数回答可)



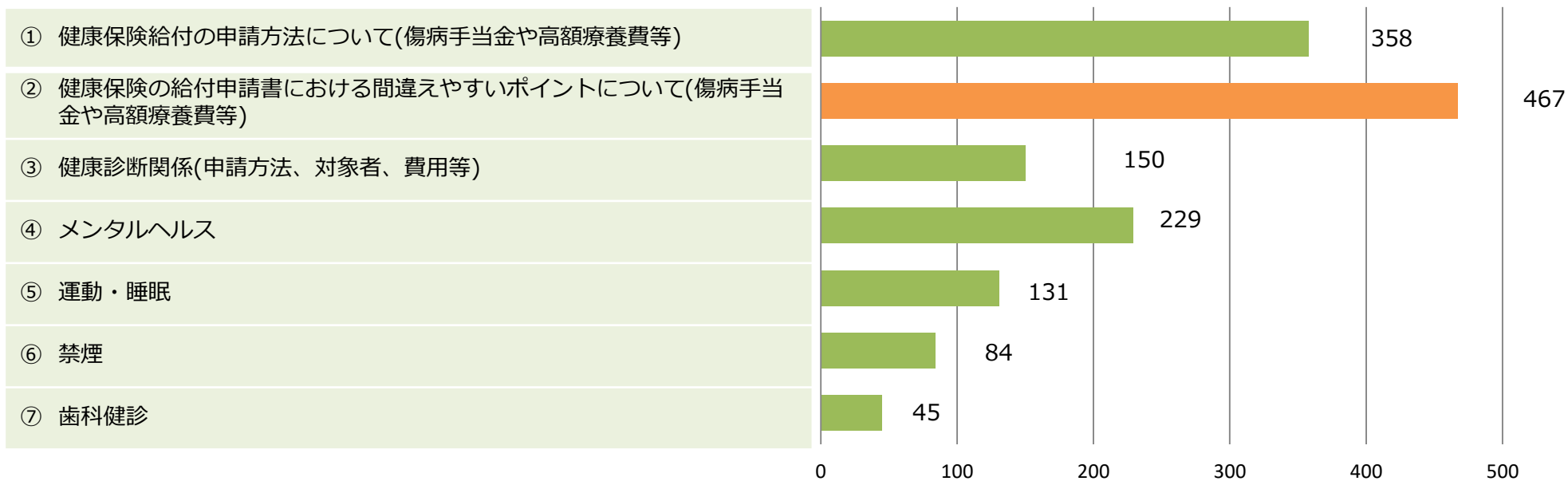
➤ 問9の自由記述について

記入内容

毎年の健康診断を行っているので病院からのお知らせ。

以前は同じ封書で届いていたが、今は別々になってしまっているので、その為に時間的ゆとりがない。

◆ 問10：健康保険委員向けに研修会を開催する場合、希望する研修内容はありますか？(複数回答可)



➤ 問10の自由記述について

記入内容
腰痛対策。
メタボ対策。
給付関係よりも、日本年金機構へ提出する書類の記入や、手続きのやり方。
保険給付申請書等に変更のある場合や全体的に間違いの多い事柄についての内容を希望します。
健康診断結果について、結果票の見方など。
メタボ。
食事によるカロリー制限又は、カロリー制限しない食事のとり方の裏わざ、塩分のとり方のポイント。食事をとる時間と回数、間食のポイント。
表面の情報しか知らなかったため、情報をしっかりと伝えて欲しい。
あれば参加したいが、毎回開催地が盛岡の為参加できない。県内いろんな所でやってほしい。
保険料のインセンティブ制度を社内の人にうまく説明できる資料をくれる時に行ってみたい。
どのような場合に届け出や申請が必要となるか等基本的なところや注意点など。
40才以降、高齢になるにしたがって見られる症状と対処法、整体、整骨院、腰痛、肩、ひじ、足首、足指、骨の変形、診療、治療科、難聴etc・・・。
職員が何かあった時に必要な書類が色々あるので、色々なことを学びたいです。すぐ忘れてしまうので。
研修内容についてではなく、開催地区を多くしてほしい。職員が少ないので近隣市町村でないと参加できません。
問3-②、問5全般。
研修参加の予定はなしです。
日程が合えば色々参加したいと思います。

◆ 問11：健康保険委員に登録するメリットとして、今後どのようなサービスを期待しますか？

記入内容
実務の研修会を増やしてほしい。
わかりやすく目を引く健康情報に関するポスター等の掲示物等のサービス。
専用ダイヤル開設。優先的に相談(問合せ)できると助かります。(※つながりやすい)
助成案内。
退職後の何か。年金申請時の優遇とか。
職員の保険事務をスムーズにできるよう、わかりやすく処理の頻度が高い事務手続きの研修会をしてほしい。
長いこと委員をしているが、他社の方々と交流してみたい。
60才、65才時の注意点。
研修会。
健康関係の研修会参加。
今迄通り引き続きお願いします。
健康づくりについてのアドバイスなど教えてほしい。
無料診断やがん健診情報が沢山あるといいなと思います。
研修会で参加できなくても同等の情報量の確保。
無料の勉強会、情報提供。
登録している事業所をもっと県内に広めて欲しい。経費削減としてのメリットが欲しい。
変更事項があるときはHPのみでなく、郵便物の中に同封を今後もお願いしたいです。
メンタルヘルスクエアや運動・睡眠の研修会。
労務士に頼らなくても手当てなど詳しく教えてくれるサポートがほしい(無料)。セミナーは近くでやってほしい。
再雇用が70歳などと高齢者が増えてくると問1～問5を勉強しておかなければならないと思うのでぜひ研修をお願いしたい。

◆ 問11：健康保険委員に登録するメリットとして、今後どのようなサービスを期待しますか？

記入内容
手続等社労士様におまかせ状態ですので、理解・認識を深めたいと思います。
従業員に情報提供をする際わかりやすい説明方法、パンフレット。
制度等が変更になったら、広報でいままでどおり、お知らせしていただきたい。勉強会もH P 等で動画で配信サービスがあればわざわざ出向がなくてもよいので検討してほしい。
研修会。
協会けんぽ行き書類を郵送する封筒を毎年、10枚くらいずつ送ってほしい。
減塩・減脂の試食会。
問3.4.5の内容がほとんど知らなかったため、たまにそのような情報も頂きたい。
健康保険の手続き等をまとめ冊子等の配布。
健康保険委員に登録したばかりなので、よくわかりません。
研修会の開催。(盛岡以外でも予定してもらいたい)
健康面で気になるので、その事に対する情報を期待したい。
健康増進につながるイベント(体をつかう、食に関する)施設などの紹介や特典があるといいと思います。
メルマガ登録だけでなく、LINEやアプリだともっと便利で気軽に登録する方が増えるのではないかと。(特に若者にも早いうちから健康意識を高めてほしい)
社員全体で取り組みやすい体操など、または食事の仕方など。
季節毎や年齢に応じた体調の変化などに対処する事。従業員に啓発する時の資料になるもの。
健康保険委員の交流の場がなくなった為か生の声・悩み等の情報交換する場が必要では。
入院した際のさまざまな申請書について、各種どのような書類があるか知りたい。
今のところどのようなメリットがあるかわからない。
何かをする時の窓口という事以外、何かがあるのか?・・・健康保険委員のメリットは何かを教えてください。
今まで通り、研修会の開催をお願いしたいです。

◆ 問11：健康保険委員に登録するメリットとして、今後どのようなサービスを期待しますか？

記入内容

健診結果の脂肪等の、要経過観察等の場合に食生活の改善としてお奨めする物、項目別で脂質→〇〇 コレステロール→〇〇の表のようになもの。

保険料の割引。

特別な事は不要。マニュアル手引きが欲しい。(紙物で)

研修となると、内陸で行われることが多く、なかなか参加することが出来ません。なので、広報媒体でいいので、今まで通り情報をお願いします。

申請書類の提出先が複雑であり、簡単な手続きもどこへ提出するかから、捜さなければならなくもっとわかりやすく県内ですませるよう1本化して頂きたい。

各種申請に必要な添付書類等変更があればお知らせくださると助かります。

メリットが感じられない。

健康保険加入の従業員が健康相談や不安等の相談できる窓口(TEL)を利用できる。

健康促進・維持などに関する社内向け啓発ビデオの貸し出し、禁煙に関するパンフレット等の配布(有料でもよろしいので)

相談、問い合わせでもう少し手軽にできるといいです。

制度が改正されたときの、お知らせと研修会。

社員の手続き、質問等にしっかり対応できる様、自分自身の知識を深めたいと思います。

研修セミナー等に優先して参加できる事がメリットだと思っております。

60才以上の人を雇い入れて注意すること、手続。

禁煙に関する他社の取組状況(健康に対する意識など)何かわかる資料があれば。

近郊で行われる、生活習慣病予防の為の催事の広報がメール及び広報誌で来るとありがたい。

学びの機会。

今年より社会保険業務に就いています。制度の勉強をして、申請漏れがないようにしたいと思いますが、制度の一覧がわかるような小さい手帳の配布などあれば良いと思います。

保険委員のみのわかりやすい虎の巻みたいな本を作ってもらいたい。

予防医学協会主催ヘルシークッキング販売・無料健診・優先的に案内頂きたい。

今回のアンケートに答えることで、改めて、自分の知らない情報があったことを知ることができたので、他の委員さんの取り組みやアンケート結果を知るようなサービスを期待します。

◆ 問11：健康保険委員に登録するメリットとして、今後どのようなサービスを期待しますか？

記入内容

事務手続きの簡素化。

研修会の他保険委員の交流会等。

コピーして給与明細に同封できる健康情報など毎月なにかしらあると便利かなと思います。

社員も利用できるリーフレットの封入。(健康情報など)

今月から担当になりましたので、まだわからない事が多い為気軽に電話相談させていただきたいです。

健康保険の各種手続きについて、注意事項等ご指導お願いします。

特に登録メリットとして明確なものは把握できていない。様々な手続き変更や誤りが多いもの等のマニュアルがあれば良い。

問1～5のような件は度々利用しないようなことなので、勉強会の開催等で周知させる。

季節にあった健康情報や手当の情報の発信。(運動会の時期には、「ケガ」に対しての手当の情報)

引き続き情報提供をお願いします。変更となる手続き方法がある時は、複数回の情報提供があると助かります。

高齢者が多い為メールマガジンよりパンフレット等で案内等配布を希望したいです。

生活習慣病・介護予防の為の講習会。

今まで通りで良いです。

従業員それぞれの知識アップにつながるよう、細かく詳細な案内を希望致します。

従業員の健康管理が出来る事。

色々な制度の研修会。

これらの設問にある事項についてのマニュアルや様式集の配布。

今までの様々な情報提供。

研修の機会を増やしてほしい。

小規模でも開催場所の近い研修会・勉強会があればぜひ参加したい。

制度改正時のいちはやい情報の提供。(これまでも、これからも)

数年後に弊社では退職者が続くと見られ、社保や雇用保険の手続きをしなければならないので心配です。おかげさまで「年齢区分手続き」で確認しています。具体例が載っていればとても参考になると思います。

研修の開催。

委員同志の交流ができる様な研修会。

メンタルヘルスへの実際の対応策。例えば、復帰プログラム等の指導等を教えて欲しい。

健康維持に関する資料等の配布。

- ◆ 問12：健康保険委員として、ご苦労されていることや従業員の方への制度周知等に関して工夫されていることがございましたらご記入ください。

	記入内容
	担当者変わりました。「知っている項目」増やします、よろしくお願ひします。
	メールマガジンでいいなあとと思って、印刷して掲示しても興味のある社員が少ない。
	何でも知っていると思われても、告知・報告がないと対応できないので各個人が申請してくれるとありがたい。
	傷病手当、出産手当など本人に給付になったことが事業所でも確認できれば安心しますが・・・。
	労務士事務所様に手続き等依頼の為知らないことが多くありました。
	雇用保険と老齢厚生年金との調整が資料だけではわかりづらい。自分がまだ定年とほど遠いため、関心も低くなりがちで定年を迎える方々に社保の手続や年金のこと税金のetc聞かれるが、ケースバイケースなので、はっきりとしたことは言えないが、知識が足りずアドバイスすらできていない様に感じる。
	インターネットの普及で個人で知識を得ているようで昔ほど質問されることがなくなった。
	給付制度について知らない社員が多いので、説明をしながら給付対象となる社員へお知らせをしています。
	なかなか新しい事を受け入れてはもらえない。
	保健指導実施予定者が仕事が忙しいからとアドバイスを受けたくないということ。毎回同じ事を言われるので意味がないといわれて残念に思っています。
	生活習慣予防健診後の保健師指導等、本人へアドバイスや二次検診を進めているが、仕事を理由に受診してくれない事が多い。
	全体朝礼での改正点の周知。掲示用ポスターやチラシがあればよろしいかと思ひます。
	従業員の個々の健康管理意識が低い。
	メールマガジンを従業員に回覧している事。
	研修会に出来るだけ出席して多くの知識を身につけていくように頑張っており、特に工夫等はしてないです。従業員の疑問に出来るだけ分かりやすく答えていきたいです。
	今まで特に複雑な申請者等がいなかったので一般的な手続きしかわかりませんが、色々勉強したいと思ひます。
	ハピネスを毎月、共有して社員にも情報を周知している。
	頂いた案内等を従業員の掲示板に掲示しているが、なかなか積極的に閲覧・申し込みはしない様子です。
	体調の悪い従業員とどんな具合か良く話をする。家族の病気に関しても自分の体験からアドバイスをしている。禁煙に関するチラシ等、薬局などで見つけてきて、会社で貼り出している。メンタル的な事は話を聞いてやってアドバイス等した事はあるが、結果あまり役立てなかった虚しい気持ちになった。やはり専門の人でなければ無理なのかな？
	各種の手続きに関しましては、弊社取引の社会保険労務士を通して行っているため、細かいところを周知できていないのが現状。
	問10の研修会を開催してほしい。
	加入(資格取得届)の書類提出後、保険証の届く日数がもう少し短かいと助かります。
	協会けんぽからの広報媒体を回覧しみんなに見てもらうようにしています。
	どんな時にどんな制度があつて、申請できたのにしていなかったという漏れがないか心配な時がある。(まだまだ勉強不足)従業員から相談や申告がないと、対応できない(知らない)こともあるので、それも不安を感じる。制度周知としては、主に問9のチラシ・広報誌の回覧です。
	傷病手当金、出産手当金、出産育児一時金等の概要、申請の方法の説明を受ける場があればいいと思ひます。
	協会けんぽからのパンフレット等を使って回覧している。
	広報物(ハピネス)やチラシを店舗ごとにコピーして回覧している。
	忙しさにまぎれて忘れることがないように管理すること。要検査等受診の確認後フォロー。
	メンタルヘルス。
	保健委員として問1～問5で知らないことが多い(毎日の業務が忙しい為勉強する機会がない)これから保険委員として恥ずかしくないように勉強・研修に率先して出るようにしたい。
	よろしくお願ひします。

◆ 問12：健康保険委員として、ご苦労されていることや従業員の方への制度周知等に関して工夫されていることがございましたらご記入ください。

記入内容

年1回の生活習慣予防健診の実施以外では取り組みができていません。中高年齢層の雇用に対し、健康の意識を高める取り組みを考えていきたいです。「H a p p i n e s s」に掲載されている内容を、PDFにし社内メールや社内掲示板にて、周知している。

社内屋外や社用車を禁煙にしたが、社用車内の禁煙については、規定がないそうなので、規定してほしい。

従業員に回覧はしているが、本人がその立場にならないとわかってもらえない。

社員が無関心（情報発信にしても興味をもたない）

健診の受診率があがらない、特定保健指導も受ける時間の調整が難しい。

マイナンバー導入で書類の扱い（特に保管）に気がつかれます。

健康診断で保健指導の対象となっても事務所にいる事のない現場職員は受ける事ができない（有給をとるとかその日は特別に現場に行かない様には伝えるがなかなか折り合いがつかない）結果本人は自分の健康状態をわかってはいてもあまり改善しようとならないのではないかと思います。

健診後の保健指導等による特定保健指導を受けたいと思うのですが経営者がOKを出さないとできないようで残念です。

どのように情報提供するか考えているところです。

掲示した事も、説明した事もあまり覚えてないようで、必要なタイミングでしか制度は理解されないと感じます。

健康診断が終わった後に結果を生かす為の管理について（どこまで踏み込んだ対策をとるべきか…）

若い方や、特に気を付けてほしい方こそ、健康に関して無関心である。そういった方への意識付け。諦めずに発信し続けたい。

届書の提出先を間違えてしまう。問4の①保険証の送付先は協会けんぽである。が、わからないです仙台かと思うのですが。

メルマガ登録することで資源の節約になる事がわかっていますが、紙ベースの物を1部営業所分として、1部ほしいです。（会議の時に口頭だけでは意識が低いので）

健康診断結果があまりよくなかった人への対応。どこまで踏み込んでよいのか。

同封されている読み物などは、社員のタイムカードのところに掲示しております。けっこう皆読んでくれます。

自分自身の理解度が低いので、もっと勉強しなくてはいけないと感じています。メルマガジンを登録しましたので、情報提供のツールになればと思います。

個人で相談してくる方もおおいので、その都度調べていて、その方に合った回答ができるようにしている。フローチャート式で、調べたい事がわかると便利だと感じる。

今までは健康保険委員の知識程度で従業員の対応ができていたが、激動する時代に社労士レベルの知識がないと対応が難しくなってきた。

生活習慣病予防健診を受診させたいのだが、医療機関が何々受け入れてくれない。昨年受け入れた会社が優先等々）

若い年齢層ほど健康意識があまりない。

協会けんぽに電話をして、カレンダーやポスターを店舗分送ってもらっている。

従業員の周知方法など、モデル案内か紹介があると参考になります。

改定ポイントや申請記入ポイントなど大きく掲示板に貼って周知できればいいです。

平均年齢が高いので毎年の健康診断の結果を確認し悪い人へのアドバイス等をしている

広報媒体は回覧して、全職員の目に入るようにしています。本当は生活習慣病予防健診ができれば良いとわかっていますが、業種上できずにいます。市で行われている健診をうけていたりするので、どうにかできているのかな・・・とも思ったり。難しいところです。

社員に関係することは、社内に掲示し周知しております。

毎年の健康診断後に再検査の必要な社員には徹底して受診、治療を行うよう指導し、健康維持の重要性を説いている。

禁煙についてはどのようにすれば効果的なのか、未だ思案中。

社員全員が集まる機会が月一でしかないなので、傷病手当、産前産後、出産一時金などの説明がわかりやすくできる書類や冊子とかがあればすぐ活用できると思います。

- ◆ 問12：健康保険委員として、ご苦労されていることや従業員の方への制度周知等に関して工夫されていることがございましたらご記入ください。

記入内容

ポスターが少ないです。ホームページかダウンロードするが、白黒となってしまうため目につきにくい。
制度が有効に利用するための説明をしたいが、最新の制度かどうか不安になるので、事務手続きの冊子は放しません。今後も冊子は続けていただきたいと思います。
申請書郵送前にFAXで確認していただきOK！！であれば発送という仕組みがあれば助かります。
毎年同じ人が生活習慣で指摘されている事。健康講座を実施しても変わらない事。仕事＝お金＝健康である事の意味を理解してない事。
制度が複雑、保険料も所得税等に含めて納めるようにすれば無駄が省けるはず。
禁煙対策ができず、何かヒントが欲しいです。
従業員への周知についてや、相談にも応じられるよう、これから工夫していきたい。
健診結果による病院への受診をなかなかお行わない。
皆が通常目にする掲示板へ貼って見てもらうようにしてます。
従業員のメールマガジン登録について、50代、60代の従業員が多いため、メールをしない方、登録すること自体に消極的な考えの方が多い。
周知等はホワイトボードに掲示しています。
運動習慣や禁煙への動機付け。
従業員全員へ周知徹底の為、給料明細書にお手紙等を入れて配布してます。(明細書は、みんな見ると思うので)
今年度から担当になった為、初めての申請等に時間がかかる。
健診は全員受診していますが、その後の保健指導の案内があった時に指導を受ける人が少なく、協会けんぽに申し訳なく思っています。(ほばいなくて)
社内電子掲示板にUPする時に、従業員向けの言葉を考えるのが大変、そのまま配信出来るものがあると助かります。
セミナーへ参加したいが遠方のためなかなかできない。
チラシ等は確実に従業員が読めるよう回覧している。
健康診断の結果で二次検査の指導がある方にお話しても、精密検査に出向いていただけないことです。
従業員全員へ、周知した内容が同じに伝わらないことがあり、どのように周知したら良いか悩むことがある。
職員への周知は、職場内ネットワークにて各種情報にてアップして周知している。
健康診断は受診するが、その後の保健指導について外勤や人員不足等の理由によりなかなか受けてもらえない。
アンケートの中で会社で直面していない事が多く答えられなかった。知らない事が多かった。色々研修に参加したいです。
各種の手続きにおいて従業員が制度についてあまり興味のないこともあり、制度周知が難しい。(全員が在社するケースが少なく各現場へ分散が常時)
健康診断等が8月というのが定番になっているので、そのあとの保健指導が冬場になってしまい、業種的に冬場に時間を取るのが難しいので、時期の調整が難しいなと感じています。
話しやすい雰囲気づくり。
毎年の健診の日程調整が大変です。
小さいチラシ等があれば給与時等に渡しやすい。
いただいている広報誌やメールマガジン等から流用して掲示板にのせております。(気になるところやお知らせなど)
人数が少ないので用件が足りています。いつもありがとうございます。

- ◆ 問12：健康保険委員として、ご苦労されていることや従業員の方への制度周知等に関して工夫されていることがございましたらご記入ください。

記入内容

広報誌を全員にメールで配信しています。

前任者より引継ぎがなかったため、難しく思うことが多かったため、昨年、社労士と顧問契約をし何かあれば相談したり手続きを代行してもらっています。

タイムカードのところに、パンフレットを貼っている。

年齢と共に不都合な部位が多くなりつつあります。うまく乗り越えられるか、食事・仕事の配分等を心に留めて対応を心掛けていますが、とても心配な部分です。

経験や知識がまだ浅いので急な対応ができない。

色々な情報を職員向けに発信していますが、反応がありません。

資格取得時、保険証が届くのが遅いと従業員から言われる。

個人の健康に関する介入について。(タバコを吸っている職員に本数を減らすことを進めたところ、「タバコで死んでも良い」と言われ返答する言葉がありませんでした。)

制度の変化についていけない。知らせる時に一般の人でも分かるような内容の文章を作っただけだとありがたい。

健診結果を基にそれぞれに合うアドバイスを考え伝えています。

月1の安全衛生委員会の定例会議の資料に添付し、議事録を全社回覧している。

同封されているチラシ等で、参考になるのは回覧している。

少人数のため個々の健康等の状況が聞けたりするので、利用できそうな制度の紹介等ができます。

労務担当になってまだ数ヶ月で、労務士さんへ依頼することも多く、質問に知らない事が多かったです。参考にします。

沿岸部(久慈・宮古)で生活習慣病健診の(予約が)枠が一杯になり予約が取れにくく、苦労しました。提携の健診機関が少ないように思います。増えると助かります。

1年に2回保険料が変わるのを一回にできないものではないでしょうか。算定基礎届後に一回にして欲しい。

健康を全く意識しようとならない人達の意識改革が手上げ状態です。高血圧のこわさとかいくら伝えても伝わらず。

社員に色々な面でアドバイスが出来るようにしたいと思います。

健康保険委員アンケート集計結果報告(まとめ)

協会けんぽ事業認知度について

① 限度額適用認定証について

→「医療機関等に提示することで、後日高額療養費として給付される分の医療費を医療機関窓口等で負担しなくて済む」の項目が約90%と高い認知度となった。逆に、「マイナンバーを記入し本人確認書類貼付台紙マイナンバーによる課税情報等の申出書を添付することで、非課税証明書の添付が省略できる」の項目が約15%と低い認知度となった。・・・2ページ

② 申請書の提出について

→「協会けんぽの書類は、郵送により提出できる」の項目が約95%と高い認知度になったものの残りの5%は、「郵送では申請書を提出できない」と考えていることが分かった。・・・2ページ

③ 傷病手当金・出産手当金の添付書類について

→年金調整に関わる2項目の認知度がそれぞれ約11%、8%と低い認知度となった。・・・2ページ

④ 保険証の利用について

→認知度が低いと予想された「第三者行為による傷病届の提出」の項目より、「ケガをして病院を受診した場合、負傷原因届の提出が必要」の項目が約20%と低い認知度となった。・・・3ページ

⑤ 医療費の返還について

→「退職後に誤って保険証を使用し病院を受診した場合、医療費の返還をしなければならない」の項目が約62%の認知度となった。保険者間調整については広報で取り上げる機会があまりないため、それぞれ約9%、4%と低い認知度となった。・・・3ページ

事業計画の参考材料について

⑥、⑦、⑧ 生活習慣病予防健診を利用する予定はないと回答した方について

→理由として「生活習慣病予防健診制度を知らなかった」が最も多く、次いで「受診できる健診機関が近くにないため」の回答が多かった。回答した事業所の所在地を確認すると、沿岸沿いに集中していることが分かった。また、「受診できる環境(集合バス健診)が整えば、生活習慣病予防健診を利用したいか」の問いに対して、利用したいとの回答が僅かながら多い結果となった。・・・4~7ページ

⑨ 広報媒体として見る頻度が高いものについて

→納告チラシを見るという回答が最も高く、健康保険委員ということもあり「Happiness」が次いで高い結果となった。平成30年度に実施した加入者理解率調査では、情報収集の手段としてホームページを利用するとの回答が一番高い割合を示していたが、今回の結果から見ると利用頻度が低い結果となったため、ホームページの充実度等の対策が必要と考える。・・・7ページ

⑩ 健康保険委員研修会で希望する研修内容について

→「給付申請書における間違えやすいポイント」について高く希望していることが分かった。これまでも各種申請書についてクイズ形式等を用いて実施してきたが、より深い内容に興味があるのではないかと考えられる。・・・8~9ページ

⑪ 健康保険委員のメリットとして、今後どのようなサービスを期待するかについて

→多かった回答としては、「研修会を開催する地域を増やしてほしい」、「他社の健康保険委員と意見交換してみたい」、「制度や申請書等のポイントを押さえたマニュアルが欲しい」との意見が寄せられた。また、岩手支部で展開しているヘルスアップサポートの項目を希望している事業所も見られたため、対象事業所に勧奨を実施してはどうかと考える。・・・10~13ページ

⑫ 健康保険委員として苦労されていることや制度周知等に関して工夫されていることについて

→苦労されている点については、健診関連の勧奨方法や体制等に苦労しているという意見が多かった。(特に特定保健指導の受診等)

➤ その他

メルマガだけではなく、LINEやアプリ等の使用や動画配信サービスを使用するなど時代に合わせた広報手段を用いたほうが良いのではないかとの意見もあった。